

医師と考える

開頭手術の ポイントを押さえて看護に活かす

～スムーズな手術準備と器械出しのポイント～



手術看護は専門的な知識や技術が必要なため、教育に多くの時間を要します。さらに「器械出し看護」は清潔野という限られた場で実践が繰り返されることから、知識や技術を他者と共有する機会が少ないという特徴があります。脳神経外科領域ではカテーテル治療が年々増加しておりますが、手術現場からは器械や材料の準備、長時間の手術による合併症への対応など、開頭手術でのお悩みも多く聞かれています。今回はその開頭手術に焦点を当てて様々な施設の先生方とディスカッションをし、明日から使える知識を習得していただける情報交換会としたいと考えております。

開催日時

2022年9月10日(土) 14:00~16:00

開催場所

Zoom(オンライン) ※当日参加できなかった場合は、後日配信するアーカイブ動画をご覧ください。お気軽にお申し込みください。

登壇者



【講師】

医療法人
札幌麻生脳神経外科病院
脳神経外科医

下田 祐介 先生

【パネリスト】

社会福祉法人 恩賜財団
済生会滋賀県病院
中央手術部 係長/手術看護認定看護師

佐々木 光隆 先生

【ファシリテーター】

医療法人社団 愛友会
三郷中央総合病院
認定看護管理者/感染管理認定看護師
副看護部長

飯干 雅稔 先生

【パネリスト】

医療法人 英明会
大西脳神経外科病院
主任/手術看護認定看護師

松原 昌城 先生

【コメンテーター】

医療法人
札幌麻生脳神経外科病院
手術室 臨床工学技士

小川 拓実 先生



プログラム内容

- ・開頭手術の流れと器械出しのポイント
- ・時間をかけ過ぎない手術準備
- ・マイクロ下の器械出しの工夫

※器械出しをしている臨床工学技士の方にもご登壇いただきます

お申し込み方法

- ① URLもしくは二次元コードから特設ページにアクセスし、必要事項をご入力の上お申し込みください。
申し込み締切日 9月8日(木) 特設ページ <https://www.hogy.co.jp/seminar/index.html>
- ② ご登録いただいたメールアドレスへご視聴いただく配信URLをお送りいたします。
- ③ 当日は配信URLに接続のうえ、オンラインでご視聴ください。

- ◆メールアドレスの設定により、メールが届かない場合がございます。その際は、迷惑メール設定等のご確認をお願いいたします。
- ◆当日までにURLが届かない場合や、当日のセミナーにアクセスできない場合がございます。下記電話番号へご連絡ください。
HOGYオンラインセミナー事務局TEL:03-6229-1324
- ◆セミナー終了後、アンケートにご回答いただいた方へ当日資料(一部抜粋)やセミナー内のご質問への回答を配信させていただきます。
- ◆当日参加できなかった場合も後日動画配信いたしますので、お気軽にお申し込みください。



・本オンラインセミナーは医療従事者の方を対象としております。一般の方のお申し込みは、ご遠慮ください。
・同業者の方からの申し込みはお断りする場合がございます。

医療の現場に、未来に、安全を

HOGY®

主催：株式会社ホギメディカル

限られた人材の中で、 誰でも安全に同じ準備・介助をするために

個人による質のバラつきで
手術の安全性に不安はありませんか？

離職、人材不足

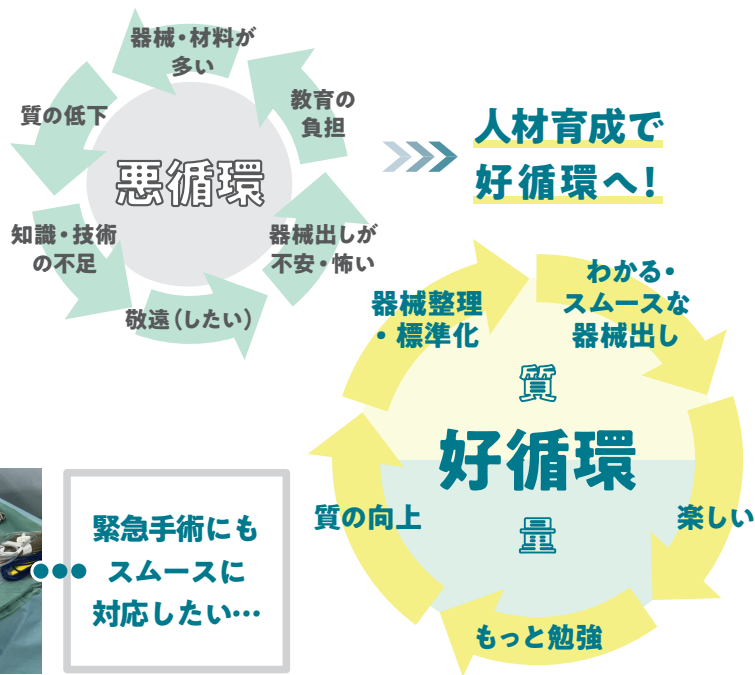
教育時間の不足

高難度の手術

器械・材料が多い

器械の破損・紛失

準備に時間を要する



緊急手術にも
スムーズに
対応したい…

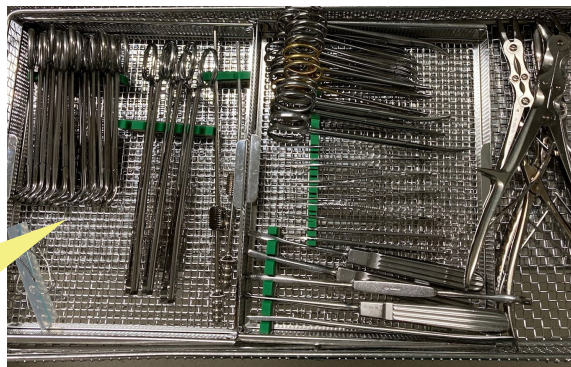
工夫次第で
「もっと安全に」「誰でも同じに」

必要な器械・材料を必要な分だけ確実に準備

開頭手術では手順に沿った器械整理がおすすめ。シーンが変わった時に誰でもスムーズに器械の入れ替えが可能に。



イーザーフィット使用例



必要な材料を
直前まで開けずに
準備できる
プレミアムキット



ガイドラインに沿った業務改善を行い、より安全な医療提供をお手伝いします

AORNガイドライン2022

Retained surgical items; Recommendation Preparing sterile field

5.10 器械セット標準化。カウントシートと共にその手術に必要な最小限の数にする。器械の数と種類の削減はカウントを簡素化、容易にする。

5.10.1 日常的に使わない器械はセットから外す。追加や時々使う器械は必要時にあける。

AORNガイドライン2022

Sterile technique; Recommendation 5. Instruments

3.3 時間経過とともに滅菌物が汚染されることにいくつものエビデンスがあるため清潔器械台は可能な限り閉めておく。使用の何時間も前から開けるより、必要な時にすぐ開けられるよう準備しておくことがベスト。

3.6 清潔器械台は使用する手術室内で準備し、他の部屋へ移動させない。

出典元：AORN Guideline for perioperative practice,AORN,2022

経験年数、職種問わず、“誰でも”
“安全な医療”が提供できる手術室へ変革を